

香川県観音寺市立観音寺小学校が防犯マップを作成

～小学校6年生全員が自分の住んでいるまちの危険な場所を確認～

日本損害保険協会四国支部委員会（委員長：横山 功・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、執行役員四国本部長）では、子どもの防犯教育の一環として、観音寺小学校6年生全員を対象に香川大学サークルである防犯パトロール隊や、観音寺小学校の運営をサポートする観音寺小学校サポート隊と連携してぼうさい探検隊を実施しました。

日 時：9月12日(火)8:30～12:00

参加者：観音寺市立観音寺小学校6年生全員(107名)、香川大学防犯パトロール隊、
観音寺小学校サポート隊、損保協会四国支部

はじめに防犯パトロール隊からオリエンテーションがあり、「安全な場所とは、見えやすい場所・入りにくい場所であり、危険な場所とは、見えにくく・入りやすい場所である」ことの説明がありました。

まち歩きでは、小学生の皆さんは防犯パトロール隊、観音寺小学校サポート隊と一緒に安全な場所や危険な場所を確認しながらマップ作成に必要な情報をノートに書き込んでいました。

その後、防犯パトロール隊等の協力を得ながらマップ作成を行い、作成したマップを用いて発表会を実施しました。

参加した子供たちからは「身近に危険な場所があることを知れてよかった」、「マップを作るのは大変だったけど記録に残った」といった声がありました。

当支部では、今後もぼうさい探検隊活動等を通じて子ども達へ防災・防犯意識向上に取り組んでまいります。



まち歩きの様子



防犯パトロール隊と一緒にマップを作成